

サンサン

# グリーン情報

2015  
vol.40

平成27年度 山口県西部森林組合安全衛生大会



山口県西部森林組合

第19回通常総代会を、平成27年8月26日午前10時より下関市豊田生涯学習センター2階ホールにて、下関農林事務所安光芳夫所長様をはじめ多数の皆様を来賓にお迎えし開催いたしました。

総代出席者数は当日現在の総代数が199名に対し、本人出席138名、書面議決書提出者39名で合計177名の出席があり、本総代会は過半数以上の出席で成立しました。

議長には下関市豊浦地区の藤本久雄総代を指名のうえ、議案を協議しました。議案の全ての審議を終え11時30分に閉会しました。

## 事業報告



藤本 久雄議長

昨年4月に消費税率が17年ぶりに5%から8%に引き上げられました。その結果、消費税増税以降は駆け込み需要の反動等により景気は落ち込み、持ち直しの動きは見られるものの、地方においては景気の回復を実感できない状況にあります。アベノミクスによる「円安株高」の恩恵は輸出関連企業や大企業には過去最高の利益を出すなど大いに効果はもたらしましたが、急激な円安の負の影響で輸入コストの上昇を招き、エネルギーをはじめ多くの原材料が高騰し、庶民の台所にも値上げの大きな波が押し寄せています。消費税増税以前は駆け込みに伴

う住宅用木材の需要増により一時的に高騰していた木材価格も下落傾向が続く、特にヒノキ材の低下は目を覆うものがあります。従来ス



安光 下関農林事務所長

ギよりも固くて丈夫なヒノキは家の土台や柱に使用されていましたが、柱を壁材で覆ったり和室を作らないなど木の風合いを活かした住まいが減る傾向により、従来の木材利用では価格の上昇は厳しいものがあります。

こうした中、国においては地方創生を旗印に内閣に「まち・ひと・しごと創生本部」が新設されました。これは、「ローカルアベノミクス」ともいうべき「新たな経済政策」がスタートし、林業の成長産業化を図ることが明文化されました。現在の特徴的な動きとしては①都市部等における建築物の木造化・木質化を推進するために国産材CLT(ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した集成材)の開発普及②公共建築物等の木質化③木質バイオマス発電施設の整備等が掲げられております。



垣村 県森連専務理事

需要に対して国産材を安定的に供給できる体制を構築し、国の「森林・林業再生プラン」に即した「国産材の利用拡大と森林林業再生運動」が全国の森林組合系統運動として展開されておりますが、当組合としても高性能林業機械等の導入による効率的・効果的な搬出間伐等を実施し、施業集約化の取組により低コスト林業を目指しているところであります。

今年度における施業集約化事業の取り組みにつきましては、旧地区ごとに9団地を設定し、搬出材積については2,098㎡の実績をあげることができました。今年度の決算は、年度目標を少し上回る8億8千万円の収益を上げ黒字決算にすることができました。厳しい社会情勢の中、また補助金が年々削減されていく中で組合員の皆様方をはじめ、県、市、県森連、関係各位のご指導、ご支援、ご協力によりましてこのような数字を計上でき深く感謝申し上げます。



挙手多数にて可決

## 第19回 通常総代会組合長あいさつ

総代会の開催にあたり、一言ごあいさつ申しあげます。  
日本列島は異常気象によるものか、台風の発生が異常に多く、各地で暴風・竜巻やゲリラ豪雨が発生し、大きな災害が出ております。こうした中、昨日山口県に接近した台風15号は猛烈な風雨により農作物被害や土砂災害が各地で発生しました。本日開催の総代会への出席にも道路が遮断されたことにより総代の皆様には大変不自由をおかけいたしました。また、災害に遭われた皆様にはこの場をお借りしてお見舞いを申しあげます。

本日は通常総代会のご案内を申しあげたところ、新しく就任された総代の皆様にはご多忙にも関わらず多くの出席を賜り厚くお礼申しあげます。

また、公務ご多忙の中、山口県下関農林事務所長安光芳夫様を初め多くの来賓の皆様のご臨席を賜り総代会が開催されますこと、衷心より厚くお礼申しあげますと共に、当組合の運営・業務推進に格別のご指導・ご支援を賜りましたこと、重ねて感謝を申しあげます。

さて、我が国の経済はアベノミクスの経済再生・デフレ脱却が実体経済に波及して、円安・株高を背景に景気は緩やかながら回復の兆しもありますし、安倍政権の成長戦略の最大の柱は地方創生であると「ローカルアベノミクス」を掲げ、「まち・ひと・しごと創生本部」が稼働をはじめましたので、地方経済がさらに活性化されるものと期待しております。皆様も、ご承知の通り森林は、木材の生産はもとより、地球温暖化防止・国土保全や水資源の涵養等、多くの多面的機能を有しております。しかしながら、森林・林業・木材産業を取り巻く環境は厳しく、木材需要や木材価格の低迷により、採算性が悪化しており、経営意欲の減退・森林の管理放棄・林業労働力の減少、



山口県西部森林組合  
代表理事組合長  
二 謙 義

様々な問題を抱えております。

このような状況の中、国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を打ち上げ、林業の成長産業化を目指しているところであり、戦後造成された人工林が、利用期を迎える中で、豊富な森林資源を循環利用することが重要であり、森林の二酸化炭素吸収源対策を推進し、美しい伝統ある農山村を次世代に継承するための政策として、新たな木材製品の技術開発・普及啓発に向けた環境整備や、公共建築物の木造化等による新たな木材需要の創出、さらには、消費者ニーズに対応した国産材の安定供給体制の構築等々により、林業の成長産業化を実現し、農山村地域に産業と雇用を生み出すと共に、森林の適切な整備・保全等を通じた森林の多面的機能の維持・向上を図ろうとするものであります。さらに、人工林のいびつな年齢構造を改め、健全な森林の育成のためにも、間伐だけでなく、本格的な収穫行為である皆伐を行い、適格な更新を図っていかねければ、拡大する様々な需要に応えられない時代が到来することになります。川上から川下までが、一体となり「使う・植える・育てる・伐採する・使う」という健全な森づくりのサイクルをしっかりと確保できる、林業・木材産業を展開し、農山村地域の活

力を高めていくことが極めて重要であります。

現在、当組合が最も力を入れているのが搬出間伐であり、林内の路網整備や高性能林業機械の導入による、低コスト林業・集約化施業の取り組みにより、組合員に利益が還元できるよう、鋭意努力しております。さらに、これらの効率的な作業システムの定着により、皆伐の際のコスト削減を図り、山元に残る収入を増やすことや、伐採跡地の再造林の推進等循環型森林整備を目指す取り組みを行っております。

さて、本日の総代会の議案提出議案は9議案ですが、特に1号2号議案について触れさせていただきます。議案第1号は、会計年度を3月末から5月末に変更しました平成26年度の決算ですが、予想以上の事業量の確保や経費節減により、黒字決算となりました。これも、一重に関係各位のご指導や、組合員のご支援の賜物であり、誠に、特に忘れてはならないのが、職員や作業員の頑張りのお蔭であります。改めまして、感謝とお礼を申し上げます。

議案第2号平成27年度事業計画設定ですが、年々事業量が減っていく中で、平成26年度に比べて大幅な事業量の減少が見込まれることか、新たな事業を獲得すると共に、経費の節約に努め、組合員への出資配当及び森林の保続培養に役・職員一丸となり鋭意努力する所存ですので、さらなるご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

本日は、総代の皆様の忌憚のないご意見を頂き、すべての提出議案に対しまして、ご賛同を頂きますようお願い申し上げます。最後に、ここにご参集の皆様方のさらなる活躍と限りなきご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

## 貸借対照表

平成27年5月31日  
(単位:円)

科 目	小 計	合 計	科 目	小 計	合 計
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
1 現 金		161,686	1 買 掛 金		8,504,525
2 貯 金		834,497,807	2 短 期 借 入 金		—
3 受 取 手 形	149,580		3 未 払 金		130,641,329
貸 倒 引 当 金	△ 1,005	148,575	4 未 払 法 人 税 等		54,287,500
4 売 掛 金	572,299		5 賞 与 引 当 金		22,111,650
貸 倒 引 当 金	△ 3,845	568,454	6 前 受 金		—
5 棚 卸 資 産		2,193,535	7 預 り 金		9,141,440
6 前 払 費 用		53,952	8 受 託 販 売 預 り 金		4,185,057
7 未 収 金	7,900,708		9 受 託 林 産 預 り 金		431,389
貸 倒 引 当 金	△ 53,092	7,847,616	10 雑 負 債		5,309,327
8 立 替 金	14,193,778		流 動 負 債 合 計		234,612,217
貸 倒 引 当 金	△ 89,351	14,104,427			
9 一 般 仮 払 金		6,218,611	固 定 負 債		
10 積 立 保 険		18,772,703	1 長 期 借 入 金		—
11 雑 資 産	3,401,986		2 退 職 給 付 引 当 金		119,657,362
貸 倒 引 当 金	△ 5	3,401,981	3 役 員 退 任 慰 労 金 引 当 金		6,878,875
流 動 資 産 合 計		887,969,347	4 農 林 漁 業 資 金 借 入 金		—
			固 定 負 債 合 計		126,536,237
固定資産			負 債 合 計		361,148,454
有形固定資産			(純資産の部)		
1 建 物	122,136,467		組 合 員 資 本		
減 価 償 却 累 計 額	△ 64,504,469	57,631,998	1 出 資 金		222,418,000
2 構 築 物	2,445,150		2 利 益 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,221,882	223,268	法 定 準 備 金		132,406,606
3 機 械 装 置	57,775,001		そ の 他 利 益 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 44,769,993	13,005,008	任 意 積 立 金		390,497,035
4 車 両 運 搬 具	64,489,123		当 期 未 処 分 剰 余 金		
減 価 償 却 累 計 額	△ 61,429,562	3,059,561	当 期 剰 余 金	21,310,210	
5 工 器 具 備 品	17,629,853		前 期 繰 越 剰 余 金	9,991,039	31,301,249
減 価 償 却 累 計 額	△ 16,449,837	1,180,016	3 資 本 準 備 金		1,928,735
6 特 用 樹 林	1,921,651		組 合 員 資 本 合 計		778,551,625
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,886,419	35,232	純 資 産 合 計		778,551,625
7 土 地		76,096,809			
8 森 林		5,515,846			
有 形 固 定 資 産 合 計		156,747,738			
無 形 固 定 資 産					
1 ソフトウェア		3,857,994			
無 形 固 定 資 産 合 計		3,857,994			
外 部 出 資					
1. 系 統 出 資 金		88,774,000			
2. 系 統 外 出 資 金		2,351,000			
外 部 出 資 合 計		91,125,000			
そ の 他 の 固 定 資 産					
1. 長 期 貸 付 金	—	—			
貸 倒 引 当 金	—	—			
2. 農 林 漁 業 資 金 貸 付 金	—	—			
貸 倒 引 当 金	—	—			
そ の 他 の 固 定 資 産		—			
固 定 資 産 合 計		251,730,732			
資 産 合 計		1,139,700,079	負 債 ・ 純 資 産 合 計		1,139,700,079

平成26年度(第19次)

## 損益計算書

平成26年6月1日から平成27年5月31日まで

(単位:円)

科 目	小 計	合 計	事 業 区 分					信託事業
			一 般 事 業					
			計	指 導	販 売	加 工	森 林 整 備	
I 事業総損益								
1. 事業総収益	878,741,628		878,741,628	79,998	17,196,727	7,503	861,457,400	—
2. 事業総費用	642,009,581		642,009,581	5,523,043	8,671,890	6,253	627,808,395	—
事業総利益		236,732,047	236,732,047	△ 5,443,045	8,524,837	1,250	233,649,005	—
II 事業損益								
1. 人件費	159,382,462		159,382,462	796,912	5,737,769	—	152,847,781	—
2. 旅費・交通費	3,011,746		3,011,746	15,059	108,423	—	2,888,264	—
3. 事務費	6,712,573		6,712,573	33,563	241,653	—	6,437,357	—
4. 業務費	5,427,752		5,427,752	27,139	195,399	—	5,205,214	—
5. 諸税負担金	30,998,732		30,998,732	154,994	1,115,954	—	29,727,784	—
6. 施設費	18,072,554		18,072,554	90,363	650,612	—	17,331,579	—
7. 雑費	1,347,746		1,347,746	6,739	48,519	—	1,292,488	—
事業管理費計		224,953,565	224,953,565	1,124,769	8,098,329	—	215,730,467	—
事業利益		11,778,482	11,778,482	△ 6,567,814	426,508	1,250	17,918,538	—
III 経常損益								
1. 事業外収益	10,350,111		10,350,111					—
2. 事業外費用	540,000		540,000					—
事業外損益		9,810,111	9,810,111					—
経常利益		21,588,593	21,588,593					—
IV 特別損益								
1. 特別利益	9,200,105		9,200,105					—
2. 特別損失	9,478,488		9,478,488					—
特別損益		△ 278,383	△ 278,383					—
税引前当期利益		21,310,210	21,310,210					—
法人税、住民税及び事業税		—	—					
法人税等調整額		—	—					
当期剰余金		21,310,210	21,310,210					
前期繰越剰余金		9,991,039	9,991,039					
当期末処分剰余金		31,301,249	31,301,249					

(単位:円)

平成26年度(第19次)

## 剰余金処分

脚注 1 出資配当金の配当率は、1%である。  
2 次期繰越剰余金中、教育情報資金は  
1,500,000円である。

摘 要	積 算 内 訳	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金				31,301,249
II 剰余金処分額				
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上		5,000,000	
2 任意積立金			10,000,000	
1 出資配当金	払込済出資金の100分の1		2,222,089	17,222,089
III 次期繰越剰余金				14,079,160

## 組合員及び出資金

H27.5.31現在

区 分	組 合 員 数			出 資 金		
	正組合員	准組合員	計	出資口数	出資総金額	払込済出資金額
	人	人	人	口	円	円
前年度末現在	10,403	326	10,729	221,663	221,663,000	221,663,000
本年度中増加	7	4	11	1,749	1,749,000	1,749,000
本年度中減少	79	2	81	994	994,000	994,000
本年度末現在	10,331	328	10,659	222,418	222,418,000	222,418,000

# 油谷小学校 新校舎の完成

～自然豊かな油谷の風土に調和～

平成25年より改築工事が始まった長門市立油谷小学校では平成26年10月に新校舎が完成し、先日完成を祝う会が開催されました。

当組合の広報誌においても改築に伴い開催された①伐採現場の見学②森林学習③ものづくり体験を紹介してきましたが、工事が全て完了しましたので紹介いたします。

改築工事のコンセプトの一つに「環境に配慮した学校づくり」が掲げられ、長門市有林の間伐材を積極的に利用した内装材からは、木材がもつ暖かさ、柔らかさ、ぬくもりが感じられ自然豊かな油谷の風土に調和した校舎となっています。





光あふれる「風と光のモール」とキッズパス  
くじらをイメージした天井と青色のブリッジは、体力山と屋外運動場の近道。



低学年用図書コーナー・メディアスペース



市有林材を利用した内装

屋内運動場 ...くじらを思わせる球状のシェル天井。スポーツの場所として伸びやかなフレームラインと星空のような照明で躍動感を表現。補助ブレースに市有林材枠を使用。



音楽教室...メモリアルロードに突出して配置。地域の音楽活動も含めた「見える化」。

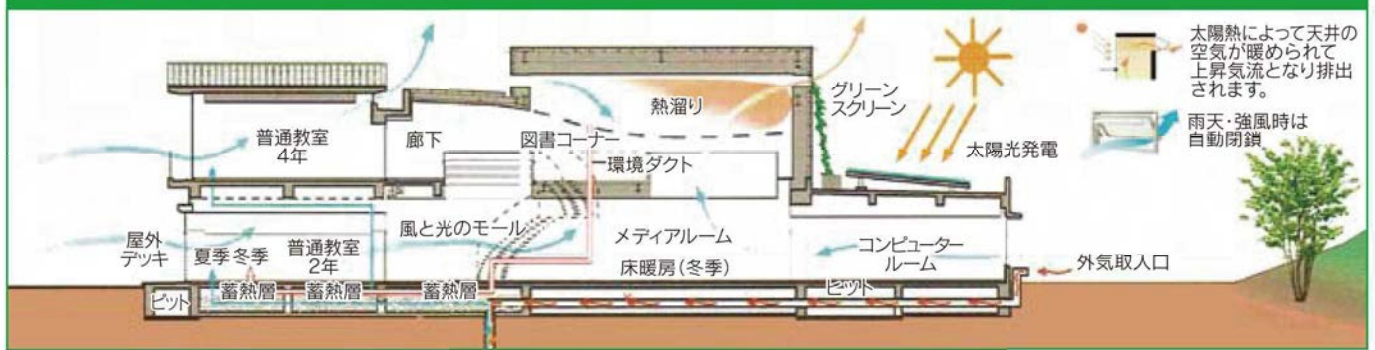
教室前ワークスペース ...大型ドアを開き教室と繋げる。



多目的ルームのフローリングは、市内の木材業者 株式会社シンワテックさんが、長門市産の「シイの木」を用いて新規開発された床材を使用しています。  
平成25年度やまぐちブランド認定

## 環境共生システム

風と光のモールで自然光を十分に取り入れ、LEDによる照明計画を行い、省エネルギー化を図りました。この地域の風向きに考慮し、風の通る快適な教室配置とし、また、太陽光発電によるアクティブなエネルギーの獲得や夏の日差しを遮る庇やグリーンカーテン、高断熱、一年を通して安定した地中熱をピットに蓄熱させて利用する仕組みによりランニングコストの低減を図りました。



# 総代氏名 (敬称略)

## 下関地区

松本 則之  
植田 文弘  
弘川 恒久  
崎田 和博  
鎌田 三郎  
岩本 友彦  
稲村 康人  
矢野 哲男  
山本 建三  
中野 眞治  
周崎 喬  
渡邊 清尚  
河田 利夫  
成瀬 勝洋  
藤田 榮  
石津 芳文  
河田 明  
能美 辰彌  
福永 弘宣  
田村 幸満  
上岡 茂男  
倉光 満生  
福永 紀幸  
下川 孝男  
里村 芳登  
福本 武文  
森田 康資

## 長門地区

坂辻 嗣朗  
馬來 信夫  
井藤 義輝  
福井 良一  
中原 康博  
坂倉 誠治  
小林 照雄  
宮本 孟  
山田 隆  
山根 誠治郎  
原田 勝司  
奥村 幸司  
吉津 致人  
大谷 敏夫  
宮川 修一  
三好 昌介  
安藤 範幸  
野村 元宏  
田村 一美  
藤野 昭  
小林 生明  
末永 元助  
谷川 雅之  
宇山 信行  
石塚 淳朗  
村中 利夫

## 菊川地区

上田 広志  
前部 源明  
築山 清隆  
福本 秀勝  
隅田 光男  
中本 俊文  
松田 直規  
伊秩 常規  
山角 友也  
澤本 勝彦  
内田 直登  
土岐 弘三  
前田 信夫  
山本 好雄  
高山 喜治  
山根 通利  
安田 徹夫  
松井 喜男

## 豊田地区

福永 眞人  
松永 寿夫  
糸賀 博  
河村 忠人  
大田 哲郎  
河田 晃幸  
竹田 衍  
永見 孝治  
河田 満義  
山田 孝二  
西本 弥須雄  
田中 一生  
村野 昭夫  
西本 静男  
林 清人  
岡嶋 英雄  
柴田 俊彦  
村岡 敏光  
西村 博文  
村上 明  
中原 邦彦  
林 政幸  
村田 龍夫  
長岡 健治  
山田 昭夫  
金本 猛

## 豊浦地区

中角 克志  
小田 正義  
安田 正人  
木村 勝次  
芝田 訓明  
藤永 悦雄  
大部 太佑  
阿部 泰洋  
榎本 三正  
村野 芳明  
中川 芳則  
中村 太一  
矢田 部和男  
杉村 保彦  
田中 正義  
藤本 久雄  
京原 繁則  
河内 本哲

## 豊北地区

藤井 正敏  
木下 征巳  
白石 孝男  
河野 和明  
河口 美義  
白石 龍夫  
磯部 一夫  
本田 和弘  
白石 俊行  
市村 修  
秋枝 輝之  
亀崎 俊明  
中村 康行  
木村 義勝  
尾湯 利行  
寺下 憲之  
伊藤 英昭  
吉母 豊秋  
熊井 清雄  
内田 洋  
木本 正人  
大江 一己  
泉 英行  
藤田 建典  
加藤 初男  
福原 久章  
吉岡 和

## 総代200名の交代について

総代任期の満了に伴い、平成27年6月26日に投票を予定しておりましたが、届出のあった総代の候補者の数が、当該選挙区において定数以内でありましたので、無投票により当選されました。任期期間はH27.7.5～H30.7.4の3年間となります。

地区名	定数
下関市(旧下関市)	27名
長門市(旧長門市)	26名
下関市(旧菊川町)	18名
下関市(旧豊田町)	26名
下関市(旧豊浦町)	19名
下関市(旧豊北町)	28名
長門市(旧三隅町)	19名
長門市(旧日置町)	13名
長門市(旧油谷町)	24名
合計	200名

## 三隅地区

松田 善則  
山下 義昭  
勝屋 修  
上利 正  
村岡 繁治  
田邊 良子  
弘中 健治  
板垣 久資  
松田 吉彦  
河野 正義  
大谷 恭弘  
中野 正博  
綿野 節男  
小林 英昭  
宇野 政人  
山中 重良  
谷村 啓介  
奥野 賢二  
佐伯 忠正

## 日置地区

山田 和男  
池岡 秀雄  
高尾 善治  
中川 雅生  
阿波 正征  
藤本 俊典  
西村 賢治  
藤本 正美  
福田 正治  
池永 道禎  
杉山 健太郎  
伊藤 祥介  
植永 慶雄

## 油谷地区

野坂 克己  
藤津 洵  
久永 喜幸  
山本 一正  
岡藤 靖  
神西 清司  
松田 昭洋  
林 丈二  
中村 安幸  
塩瀬 隆  
長尾 憲司  
横田 健美  
井上 清盛  
大村 達義  
末永 孝英  
坂倉 英雄  
磯部 猛  
埴村 浩  
山本 陽  
來嶋 裕博  
西間 美和  
久保 田明  
原田 堯  
迫山 正昭





## 平成27年度 安全衛生大会開催



組合長賞を受賞した  
高橋 亮さん



熊井 稔氏による講演

労働災害の防止を目的に当組合主催の安全衛生大会を、9月29日開催いたしました。当日は、熊井稔氏を講師に招き作業現場を踏まえた安全指導として『忘れていませんか「作業の基本」』と題した講演を行っていただきました。

また、職員、作業員を対象に募集を行った労働安全標語の表彰式をおこない、90作品の中から下関支所所属の作業員 高橋 亮さんが最優秀作品の「組合長賞」を受賞されました。最後に出席者全員での指差し唱和、班長代表者による大会宣言を行い“ゼロ災害を目指した職場づくり”を出席者一同で誓い合いました。

### 平成27年度 「安全標語」入選作品

<p>佳作</p> <p>第一步 踏み出す前に 急ぐ作業もゆとりをもって</p> <p>長門職員 笹井 孝之</p>	<p>佳作</p> <p>忘れるな 基本動作と 危険予知</p> <p>下関支所 仲 勇実也</p>	<p>佳作</p> <p>慣れるほど 忘れてしまうその危険 基本に返って安全作業</p> <p>下関支所 春永 喜次</p>	<p>優秀賞</p> <p>防護服 つけて目指すは ゼロ災害</p> <p>中央職員 小田 拓磨</p>	<p>優秀賞</p> <p>経験と 慣れに頼らず リスクアセスメント</p> <p>長門支所 江本 拓史</p>	<p>組合長賞</p> <p>慣れと油断が命とり 指差呼称で 安全作業</p> <p>下関支所 高橋 亮</p>
--	--	--	--	--	--

## 「コンプライアンス研修会の開催」



吉沢 純一次長による講演

当組合では役職員を対象に農林中央金庫中国農林水産環境事業部次長 吉沢純一氏を講師にお招きし、コンプライアンス研修会を開催いたしました。

今回はH28年1月より実施されます国民一人ひとりが持つ12桁のマイナンバー制度について、個人情報を取り扱う観点から制度の内容及び取り扱う上での注意点等についてご講演をいただきました。今後は社会保障、税、災害対策の行政手続でマイナンバーが必要になり、それを取り扱う当組合としても個人情報の漏洩等に再度注意喚起し、今後も組合員及び社会から信頼される組合となりますよう、役職員一丸となりコンプライアンスに取り組んでいきます。

### 組合員の名義変更をお願いします

#### — 組合員資格に係る届出のお願い —

1. 死亡による相続
2. 譲渡
3. 共有林の代表者の変更
4. 記載事項（住所変更等）

上記事項が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になりますので、該当される方は早急に所定の手続きをお願いします。

様式は組合ホームページ↓

(アドレス "<http://www.ywf.or.jp/>")

に組合員専用ページを設置し、組合員資格手続を行う際に使用する様式を提供していますのでご利用下さい。

組合員死亡による相続をされる場合は、組合員の死亡及び相続を確認する書類(例：戸籍謄本、公的に相続した書類等)が必要となります。

なお、手続(届出)に関して不明な点や詳細につきましては本所、支所までお問い合わせ下さい。

本 所 083-766-0180 下関支所 083-258-4400  
中央支所 083-783-0013 長門支所 0837-22-2001

#### ● 森林国営保険の移管について ●

森林保険は、火災、気象災及び噴火災により森林に発生した損害を補償する総合的な保険であります。このたび、平成27年4月1日森林国営保険が国より国立研究開発法人 森林総合研究所へ移管され森林保険となります。これは「森林国営保険法等の一部を改正する法律」が平成26年4月9日に可決・成立したことによるものです。移管時点で有効なご契約は森林総研に自動的に引き継がれ、ご契約の補償内容に変更はありません。



# 表紙紹介

## 安全衛生大会

表紙の写真は、作業を安全に誤りなく進めるため、危険を伴う作業の要所要所で呼称する項目を声に出しながら、しっかり見つけ、背筋をただして、腕を伸ばし、指を差し、「合図の徹底 ヨシ!」と大きな声で数回唱えて確認しているのが「指差し唱和」です。身近なところでは駅のホームで駅員さんが指を差している姿を良く目にします。

指差し呼称は、大きな声を出し、指を差すことで脳の運動領域・筋覚領域・言語領域・視覚領域が一斉に活性化し、危険を伴う作業のポイントで集中力を高め、「うっかり、ぼんやり」等のヒューマンエラーによる事故を防ぐのに非常に有効です。複数の人間で行うことでチームの一体感や連帯感を高める効果にも繋がります。



## 安全パトロールの実施



災害のない安全な職場作りのために、作業中の現場を訪れ作業状況を視察し、安全作業の徹底を図るため安全パトロールを実施しました。

災害ゼロを目指し作業手順書に照らし合わせた安全作業を実施するよう指導すると共に、熱中症対策を十分するようにまた、蜂刺されにも注意するよう指導いたしました。これからも安全の徹底に一丸となり取り組む所存です。



H27年度

安全衛生目標

不安全行動の徹底排除と合図の徹底

安全衛生スローガン

「慣れと油断が命とり  
指差呼称で  
安全作業」

H27年度安全衛生大会標語最優秀作品 高橋 亮(下関支所作業員)

## 編集後記

再生可能エネルギーが注目されるなか、豊田町に民間の木質バイオマスセンターが開業されました。バイオマスとは、生物資源(バイオ)の量(マス)を表す言葉で、もみ殻・家畜の糞・食品廃棄物など色々な農林水産物がありますが、その中で木材に由来するものを「木質バイオマス」といいます。具体的には製材工場から出る端材やおがくず、住宅の解体材などがありますが、ここでは、間伐等で伐採した木材で採算性や需要の低い材として山林から搬出されずに放置される木材(未利用木材)を発電用の木材チップに加工する工場です。

個人での搬入も可能ですので、軽トラックに乗る長さには造材し持ち込まれたらいかがでしょうか。但し、搬入する際にはバイオマスセンターでの事前の登録が必要となります。(T.K)

## 困った木切ります

～大木にお悩みの方に朗報～

温暖化による影響か、今年は日本列島を多くの台風が来襲し、各地で暴風・竜巻・ゲリラ豪雨が発生し、各地で甚大な被害が発生しています。こうした中、家の周囲に大木があると思



わぬ被害を受けることがあります。こうした困った木の伐採に悩まれている方がありましたら、お気軽に当組合にご相談下さい。無料でお見積もり致します。



## 雑草にお困りですか？

ササ、カヤ、クズ、その他多くの雑草に  
効果の高い除草薬をご用意します!!

ご相談受け付けております。  
詳しくは森林組合へお問合せください。

## 鳥獣にお悩みですか？

林地、農地などで多発している鳥獣  
被害に適切な資材をご用意します!!

# 正和商事株式会社

北九州市小倉北区京町 3-14-11 本館 303  
TEL: 093-511-0115 FAX: 093-511-0116

## 安全・人と自然・調和

### 【野生草食獣食害防止】

くわんたい・防獣ネット



### 【樹皮食い・角研ぎ防止】

パークガード

### 【除草剤】

ザイトロン・ザイトロンフレ  
ノック微粒剤  
フレノック粒剤・ケイピンエ  
ース

### 【殺虫剤】

ハチ・アブエアゾール

### 【樹幹注入剤】

マッケージ・他各種



### 【野生獣類忌避剤】

コニファー水和剤  
ランテクター  
ヒルよらん

# DDS 大同商事株式会社

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1246-3  
Tel0942-87-9700 Fax0942-87-9704



2015年10月vol.40

■発行/山口県西部森林組合 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村853番13  
TEL083-766-0180  
FAX083-766-0332  
URL: <http://www.ywf.or.jp/>  
E-mail: [ywf-s@ywf.or.jp](mailto:ywf-s@ywf.or.jp)



再生紙を使用しています



PRINTED WITH SOYINK この印刷物は、自然環境に優しい大豆油インキを使用しております。